

2014年第2回定例会の経験のまとめ（議長メモ）

2014年7月2日（水）議運にて

（1）全体的なまとめ

- ①自治基本条例策定委員会条例をはじめすべての議案を原案通り可決した。補正予算は1件だったが特別委員会に付託して審査した。
- ②古賀市議会として初めて押しボタン式表決を実施した。
- ③古賀市議会として初めて総務委員会で、質疑終了後、自由討議を行った。
- ④反問権は行使されなかったが、市長側でその行使方法について整理、確認することが求められている。
- ⑤定期監査報告の指摘事項に対し質疑が集中した。質疑の内容については検証すべき課題もあった。
- ⑥一般質問は7人が行った。午前中に二人というのは良いと思う。質問を通じて様々な状況が判明する成果があった。一方、不適切発言の訂正や一般質問の在り方について検証すべき課題があった。
- ⑦議会基本条例施行後の請願審査について、請願者の意見を聞く場をどのように設けるか今後議運並びに委員長協議会等で検討していきたい。
- ⑧会期中の6月17日の日経新聞は、九州・沖縄の市議会改革度を報道。古賀市議会が九州・沖縄で第4位と高い評価を得た。全国では、第46位で、前回の340位から大躍進。

（2）初日の本会議

- ①監査報告に対する質疑。内場、前野、結城、吉住、阿部、飯尾の6人が質疑。
質疑の際の事実確認ならびに不適切と思われる質疑があった。関係する議員には会議録、委員会録を示して話し合った。[（地方自治法199条の再確認を全議員に促す）](#)
- ②閉会中の所管事務調査報告は、総務16分、文教20分、市民建産15分。

（3）二日目の本会議

- ①各議案に対する大綱質疑を行った。できるだけ通告して質疑することを期待したい。
- ②第30, 31, 32号議案（専決承認）について初めて押しボタン表決を行った。
- ③補正予算特別委を開催し、委員長に三好貴一議員、副委員長に舩越義彰議員を選出。資料請求を決定。

（4）会期中の常任委員会、特別委員会

- ①総務委員会を開いた。（6月13日）34号議案（配偶者同行休業）、36号議案（消防団退職報奨金）、38号議案（土地開発公社定款変更）は賛成全員で可決。33号議案（自治基本条例策定委員会）は慎重審議を必要として20日に討論、採決を延期。20日の自由討議を実施いたうえで討論、採決を行い賛成全員で可決した。
- ②文教厚生委員会を開催した。（6月16日）請願を審査した。請願者の意見を休憩中に聞いた。今後は基本条例に基づいた対応を検討したい。
- ③補正予算審査特別委員会を開催した。（6月16日）障がい者の雇用促進に関する新規事業について質疑を深めることができた。日程を文教厚生委員会の終了後に入れたのは良か

った。3人が遅刻したのは反省点。日程変更の徹底が必要だった。

④市民建産委員会を開催した。(6月17日)市道路線の認定・変更で現場視察を実施。

(5) 一般質問

①6月19日は4人、20日は3人。19日は午前中2人だったが、20日は午前中3人で、終了したのは午後1時7分。体調不良による取り下げや別室での待機などもあった。

②一般質問を通じて、企業誘致推進本部の組織体制の強化や11件の開発計画、教育委員会制度の改変と総合教育会議の持ち方、公共施設の総合管理計画を2015年度以降に策定、職員採用募集要綱に採用後に市内居住を奨励する文言記載検討、一つの行政区に二つの校区がある場合の災害時避難計画の立ち遅れ、自治基本条例策定と行政区(区長委嘱制度)ならびに校区コミュニティの位置づけ、マニフェストの自己評価などが明らかになるなど成果があった。今後所管の委員会での追跡が望まれる。

③不適切発言の訂正があった。こうしたケースへの対処方法を確認しておきたい。

④一般質問はあくまで議員主導の政策論争であること、質問する際の根拠の客観性、特定の利害関係者の立場に偏ってはならないことなど検証、確認する必要がある。

⑤傍聴席からヤジが2回あったが、議事進行を著しく妨害するものではなかったことから注意はしなかった。3回以上繰り返されれば注意したいと考える。

⑥議長席のマイクのトラブルで45分間ストップした。議長着席前の事態への対応を整理、確認しておきたい。マイクは後日交換された。(対応するテロップを準備する)

⑦フリップをズームアップした。今後は書画カメラの対応も可。画面のレイアウトの課題。

(6) 最終日の本会議

①9時30分開会し10時31分に閉会した。

②押しボタン採決の口述を日程ごとにまとめた。押しボタンの接触不良があった。

③総務委員長報告への質疑、37号議案に対する通告以外の討論があった。

④少人数学級推進・義務教育費国庫負担制度充実の意見書は賛成全員で可決した。

(7) 全体的な検討課題、反省点

①議会基本条例施行後の最初の定例会であった。市長の反問権や委員会での自由討議、請願者の意見聴取などは実践を踏まえてさらに検討を深めていきたい。押しボタン式表決は大きな問題もなく、評価できるのではないかと。

②監査の指摘事項に対する質疑については、原則に基づいて検証していきたい。

③一般質問の在り方は、各党派・議員においても自己検証していただきたい。また、明らかになったこと、ならなかったことも含め追跡を期待したい。

④傍聴アンケートに対する対応について、議運でも検討していきたい。

⑤一般質問の通告締切日については議運で検討をお願いしたい。7月1日の市長との協議の場では、副市長から9月議会は決算等もあることから従来通りとし12月議会から議会側の意向を前向きに検討したいと発言があった。

⑥議案、資料等の電子データ化と活用方法については逗子市議会視察を契機にさらに検討したい。市長にも執行部側の研究・検討を求めている。